

## 補正書の請求の範囲

[2005年4月26日(26. 04. 05)国際事務局受理：出願当初の請求の範囲

1、4、5、6及び8は補正された；出願当初の請求の範囲3は取り下げられた；  
他の請求の範囲は変更なし。(2頁)]

1. (補正後) 折曲げ状態から折り曲げ前の状態に戻る復元力と剛性を有し、所定間隔離間した2つの筐体を折曲げ可能に連結する屈曲性部材を有し、前記屈曲性部材は、薄板状であって、伸ばした状態において短手方向断面は略円弧状を有する連結装置。

2. 折曲げ可能な可撓性を有し、2つの筐体が所定間隔離間した状態で固設されたシート状部材と、

折曲げ状態から開放状態に戻る復元力と剛性を有し、前記2つの筐体に亘り前記シート状部材に重ねられるように設けられた屈曲性部材とを有する連結装置。

3. (削除)

4. (補正後) 前記屈曲性部材は、前記2つの筐体の折り曲げ方向に向けて凹状に湾曲する配置状態で取付けてある請求項1及び2に記載の連結装置。

5. (補正後) 前記シート状部材は、前記2つの筐体間の前記離間した部分に対応する略中央部領域に、前記筐体の閉鎖状態を保持する閉止力発生手段を有する請求項2及び4に記載の連結装置。

6. (補正後) 前記シート状部材は、折曲げて前記2つの筐体を閉じ合わせた状態を一時的に保持する閉止手段を備える請求項2及び4、5のいずれか1項に記載の連結装置。

7. 折曲可能な連結部を挟んで2つの筐体を開閉自在に連結する連結装置であつて、

前記2つの筐体を通信可能に接続する可撓性配線部材と、前記2つの筐体の一方に接続される受信用のアンテナとが内挿されている連結装置。

8. (補正後) 請求項1および2から6のいずれか1項に記載の連結装置を介して2つの筐体を折曲可能に取付けた電子機器。

補正された用紙(条約第19条)

9. 前記 2 つの筐体のうち一方の筐体には表示部を有するとともに他方の筐体には操作部を有し、

これら 2 つの筐体を閉じたときに前記表示部と前記操作部とが互いに対向するよう配置してある請求項 7 に記載の電子機器。

10. 前記屈曲性部材は、断面形状が湾曲部を有して長手方向の両端部が前記 2 つの筐体にそれぞれ突設された各ボス部の先端に固定され、且つ前記ボス部の先端が球面部とされていることを特徴とする請求項 7 に記載の電子機器。